

特別企画：熊本県メインバンク調査

トップは肥後銀行、2位の熊銀もシェア拡大 ～ 10位には福銀が返り咲き ～

はじめに

2015年10月に「九州フィナンシャルグループ」が設立されて肥後銀行と鹿児島銀行の経営統合が一步を踏み出してから半年足らず、2016年2月26日には長崎市に本店を置く十八銀行がふくおかフィナンシャルグループとの経営統合に向けて協議することで基本合意したとのニュースが駆け巡った。全国的に地銀再編の機運は高まっているが、少子高齢化で経済規模の縮小を免れない九州では再編が加速度的に進んでいく可能性もでてきた。中小企業からも、資金調達先である金融機関の再編には高い関心が寄せられており、各社のメインバンクとの関係性は、極めて重要な時期に来ていると言えよう。

帝国データバンク熊本支店は、企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている企業（146万社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。

なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。同調査は2015年3月に続き5回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した。

調査結果(要旨)

1. 上位9行の順位に変化はなく、10位には福岡銀行（前回11位）が入った。
2. 全業種で1位肥後銀行、2位熊本銀行の構図は変わらず。
3. 売上規模別では50億円以上で地元行がシェアを下げている。

1. 上位 20 行ランキング ～上位の順位には大きな変動なし～

熊本県下の企業がメインバンクと認識している金融機関の 1 位は肥後銀行（熊本市）の 11,627 社（構成比 59.4%）。2 位は熊本銀行（熊本市）で 3,815 社（同 19.5%）となった。ともに 2015 年調査時より社数を増やしたが、構成比では肥後銀行が 0.4 ポイント減であったのに対し、熊本銀行は 0.2 ポイント伸ばした。ランキング内では、上位 9 行の顔ぶれに変化はなかったが、前回 11 位の福岡銀行（福岡市）が商工中金を上回り 10 位に浮上した。

■メインバンク企業数ランキング

順位 前回	金融機関名	本店 所在地	2015年		2014年		順位 前回	金融機関名	本店 所在地	2015年		2014年	
			社数	構成比	社数	構成比				社数	構成比	社数	構成比
1	1 肥後	熊本市	11,627	59.4%	11,468	59.8%	11	10 商工中金	東京都	108	0.6%	112	0.6%
2	2 熊本	熊本市	3,815	19.5%	3,695	19.3%	12	12 みずほ	東京都	88	0.4%	87	0.5%
3	3 熊本第一信金	熊本市	847	4.3%	839	4.4%	13	14 三井住友	東京都	80	0.4%	75	0.4%
4	4 熊本中央信金	熊本市	625	3.2%	612	3.2%	14	13 三菱東京UFJ	東京都	79	0.4%	79	0.4%
5	5 熊本信金	熊本市	548	2.8%	531	2.8%	15	17 農林中金	東京都	44	0.2%	38	0.2%
6	6 天草信金	天草市	410	2.1%	399	2.1%	16	16 北九州	北九州市	42	0.2%	39	0.2%
7	7 熊本県信組	熊本市	290	1.5%	276	1.4%	17	15 長崎	長崎市	42	0.2%	46	0.2%
8	8 西日本シティ	福岡市	176	0.9%	174	0.9%	18	18 あまくさ農協	天草市	33	0.2%	34	0.2%
9	9 南日本	鹿児島市	161	0.8%	159	0.8%	19	19 りそな	大阪府	28	0.1%	29	0.2%
10	11 福岡	福岡市	112	0.6%	108	0.6%	20	20 球磨地域農協	球磨郡	27	0.1%	27	0.1%

注)構成比は、全調査対象企業(1万9580社)に占める割合

前回構成比は、2014年12月の対象企業(1万9182社)に占める割合

2. 業種別ランキング ～全業種で肥銀がシェア 50%超となる～

取引先の業種別分析においても、各業種で肥後銀行が 1 位を独占している。前回調査では、運輸・通信ではシェア 50%を下回っていたが、今回調査では 50.1%となり、全業種において過半数のシェアを獲得するに至っている。熊本銀行は前回調査に続いて全業種で 2 位のシェアを獲得している。

前回調査に続き、運輸・通信業では 3 位に天草信金（天草市）がランクされたが、ほかの業種では全て熊本第一信金（熊本市）が 3 位であった。

各業種において、地元地銀や信金が上位にランクされるが、製造業に関しては 6 位に西日本シティ銀行（福岡市）が、7 位に商工中金が入っている。設備投資など大型の資金需要が発生する製造業では、県外資本の金融機関の攻勢が強まっている様子が窺われる結果となった。

■業種別メインバンク企業数ランキング(上位10行)

建設

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	3,776	63.1%	63.3%
2	熊本	1,170	19.6%	19.5%
3	熊本第一信金	242	4.0%	4.0%
4	熊本信金	198	3.3%	3.3%
5	熊本中央信金	183	3.1%	3.1%
6	天草信金	127	2.1%	2.2%
7	熊本県信組	71	1.2%	1.2%
8	西日本シティ	50	0.8%	0.8%
9	南日本	44	0.7%	0.7%
10	福岡	20	0.3%	0.3%
合計		5,981		

製造

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	887	58.2%	58.1%
2	熊本	280	18.4%	18.0%
3	熊本第一信金	52	3.4%	3.7%
4	熊本中央信金	50	3.3%	3.2%
5	熊本信金	32	2.1%	2.2%
6	西日本シティ	26	1.7%	1.7%
7	商工中金	24	1.6%	1.7%
8	みずほ	21	1.4%	1.3%
9	三菱東京UFJ	20	1.3%	—
	天草信金	20	1.3%	1.5%
合計		1,525		

卸売

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	1,142	55.3%	55.7%
2	熊本	465	22.5%	21.9%
3	熊本第一信金	104	5.0%	4.8%
4	熊本信金	56	2.7%	2.9%
5	熊本中央信金	50	2.4%	2.5%
6	熊本県信組	39	1.9%	1.9%
7	天草信金	30	1.5%	1.5%
8	商工中金	24	1.2%	1.2%
9	西日本シティ	22	1.1%	1.1%
10	南日本	21	1.0%	1.1%
合計		2,064		

小売

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	1,573	54.8%	55.2%
2	熊本	582	20.3%	19.7%
3	熊本第一信金	160	5.6%	5.5%
4	熊本中央信金	138	4.8%	5.0%
5	熊本信金	116	4.0%	3.7%
6	天草信金	71	2.5%	2.5%
7	熊本県信組	60	2.1%	2.1%
8	南日本	30	1.0%	1.1%
9	西日本シティ	24	0.8%	0.9%
10	みずほ	15	0.5%	0.6%
合計		2,873		

不動産

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	499	50.8%	52.0%
2	熊本	242	24.6%	24.3%
3	熊本第一信金	66	6.7%	7.4%
4	熊本信金	41	4.2%	4.0%
5	熊本中央信金	34	3.5%	3.2%
6	福岡	12	1.2%	0.7%
7	熊本県信組	10	1.0%	—
8	南日本	9	0.9%	0.7%
9	三菱東京UFJ	8	0.8%	0.9%
	西日本シティ	8	0.8%	1.1%
合計		983		

運輸・通信

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	331	50.1%	49.1%
2	熊本	150	22.7%	22.8%
3	天草信金	49	7.4%	7.3%
4	熊本第一信金	27	4.1%	4.2%
5	熊本中央信金	19	2.9%	2.6%
6	熊本信金	16	2.4%	2.8%
7	熊本県信組	14	2.1%	2.0%
8	商工中金	9	1.4%	1.4%
9	西日本シティ	8	1.2%	1.4%
10	南日本	6	0.9%	1.1%
合計		661		

サービス

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	3,159	64.5%	65.0%
2	熊本	835	17.1%	16.9%
3	熊本第一信金	185	3.8%	3.9%
4	熊本中央信金	134	2.7%	2.6%
5	天草信金	85	1.7%	1.6%
6	熊本信金	84	1.7%	1.6%
7	熊本県信組	61	1.2%	1.2%
8	南日本	37	0.8%	0.8%
9	農林中金	34	0.7%	0.7%
10	西日本シティ	32	0.7%	0.7%
合計		4,895		

3. 売上規模別ランキング ～大規模企業に県外金融機関の攻勢～

取引先の売上規模を6段階に分類した分析でも、2015年調査同様に1位肥後銀行、2位熊本銀行の大勢は変わらなかった。

しかし、売上規模が増えるに従って、県外地銀や都市銀行がシェア上位に入ってくる傾向にあり、10億円以上50億円未満の段階では、福岡銀行が3位に食い込んでいる。50億円以上の段階に至っては、3位にみずほ銀行、4位に三菱東京UFJ銀行が入っており、金利条件で優位性を出せる金融機関が強みを発揮する様子が窺える。この結果、この売上規模では唯一、肥後銀行のシェアが50%を下回っている。

■売り上げ規模別メインバンク企業数ランキング(上位10行)

5000万円未満

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	4,564	60.2%	61.3%
2	熊本	1,468	19.4%	18.8%
3	熊本第一信金	305	4.0%	4.1%
4	熊本中央信金	272	3.6%	3.4%
5	熊本信金	241	3.2%	3.0%
6	天草信金	186	2.5%	2.5%
7	熊本県信組	139	1.8%	1.7%
8	西日本シティ	52	0.7%	0.8%
9	南日本	47	0.6%	0.6%
10	みずほ	25	0.3%	0.3%
合計		7,576		

5000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	2,378	61.2%	61.4%
2	熊本	715	18.4%	18.3%
3	熊本第一信金	187	4.8%	5.0%
4	熊本中央信金	136	3.5%	3.6%
5	熊本信金	109	2.8%	2.9%
6	天草信金	84	2.2%	2.0%
7	熊本県信組	63	1.6%	1.7%
8	南日本	38	1.0%	1.0%
9	西日本シティ	26	0.7%	0.6%
10	福岡	21	0.5%	0.4%
合計		3,884		

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	3,527	59.3%	58.8%
2	熊本	1,197	20.1%	20.2%
3	熊本第一信金	284	4.8%	4.6%
4	熊本信金	172	2.9%	2.9%
	熊本中央信金	172	2.9%	3.2%
6	天草信金	130	2.2%	2.1%
7	熊本県信組	78	1.3%	1.3%
8	西日本シティ	66	1.1%	1.1%
9	南日本	52	0.9%	0.8%
10	商工中金	34	0.6%	0.6%
合計		5,948		

5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	565	53.9%	54.3%
2	熊本	240	22.9%	22.5%
3	熊本第一信金	47	4.5%	5.0%
4	熊本中央信金	31	3.0%	2.6%
5	商工中金	26	2.5%	2.7%
6	西日本シティ	18	1.7%	1.5%
7	福岡	16	1.5%	1.4%
8	熊本信金	15	1.4%	1.4%
9	三菱東京UFJ	9	0.9%	1.1%
	三井住友	9	0.9%	0.9%
	南日本	9	0.9%	0.9%
合計		1,049		

10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	478	54.8%	55.4%
2	熊本	173	19.8%	20.0%
3	福岡	23	2.6%	3.2%
4	熊本第一信金	23	2.6%	2.8%
5	商工中金	20	2.3%	2.4%
6	みずほ	16	1.8%	1.7%
7	三井住友	15	1.7%	1.7%
8	三菱東京UFJ	14	1.6%	1.7%
	南日本	14	1.6%	1.5%
10	熊本中央信金	13	1.5%	1.5%
合計		873		

50億円以上

順位	金融機関名	2015年 社数	構成比	前回
1	肥後	115	46.0%	49.1%
2	熊本	22	8.8%	9.2%
3	みずほ	16	6.4%	7.5%
4	三菱東京UFJ	12	4.8%	5.3%
5	農林中金	10	4.0%	3.5%
6	三井住友	7	2.8%	3.5%
7	商工中金	5	2.0%	2.2%
8	西日本シティ	4	1.6%	1.8%
	信金中央金庫	4	1.6%	1.8%
10	日本政策金融公庫	3	1.2%	1.3%
合計		250		

4. まとめ

熊本県においては、1年前の前回調査に続き、各業種・各規模に関わらず幅広い地盤を持つ**肥後銀行**がトップシェアを握っていることがわかった。しかし、売上規模が大きくなるに従って、地元地方銀行の優位性は小さくなっていき、都市銀行や**商工中金**がシェアを拡大している様子が窺える。この点では、大口の資金需要が見込まれる製造業でも同様の傾向が見られた。

なお、**肥後銀行**と経営統合した**鹿児島銀行**や、ふくおかフィナンシャルグループとの経営統合に向けて協議入りした**十八銀行**は、今回の調査では熊本県内の20位以内にランキングしていない。そのため、メインバンクの観点で言えば、F F Gグループ以外ではグループ別のランキングを出しても大きな影響はない。しかし、数年後には得意分野のノウハウ共有や不得意分野の相互補完により強みを発揮してくるグループが現れる可能性が高い。

当面は熊本県内でトップ2のシェアを持つ、**肥後銀行**と**熊本銀行**が、これまでの地域密着型の支援体制でシェアを維持していくと考えられる。しかし、広域的な営業を展開するような企業に対しては、県境を跨いで傘下銀行を持つグループが優位性を発揮できる機会も増えてくると思われ、金利面で有利な都市銀行を交えた競争は激化してくる可能性は上がっていると言える。

【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 熊本支店 担当：水城

TEL：096-324-3344 FAX：096-354-4787

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。